

研究に関するホームページ上の情報公開文書

研究課題

強皮症の筋症の診断と全身合併症の関連に関する研究

代表施設研究責任者

公文義雄

研究の背景

強皮症は皮膚の硬化に加えて心臓、肺、腎臓、骨格筋などに線維化（コラーゲンなどの線維性の物質が蓄積すること）と炎症を伴う諸臓器の合併症を生じる病気です。骨格筋の線維化が進行すると、筋力低下を生じ、心肺合併症のリスクとも関連すると報告されています。従って、強皮症の筋合併症の早期診断は筋症状及び全身合併症の早期治療の観点から重要であると考えられますが、現在のところ侵襲を伴う筋生検による診断のほかには有用な画像診断の研究は進んでいません。

研究の目的

本研究は、強皮症に合併する筋症の診断と病態評価における骨格筋超音波画像検査の有用性を検討することを目的とします。

研究方法

強皮症の患者様のうち、骨格筋エコー検査を施行した方が対象となります。症状や筋及びその他の部位の画像検査所見、筋生検結果および治療効果などについて調査を行います。研究にご協力いただいた個人が特定されるような情報は完全に匿名化され、厳重に保護され、外部に出ることはありません。ご協力によって得られた研究成果は、提供者本人の氏名やプライバシーが明らかにならないようにしたうえで、学会や学術雑誌およびデータベース上で発表されることがあります。研究のより詳しい内容をお知りになりたい場合は、担当研究者もしくは外来担当医師までお申しつけください。

* 本研究の対象になられる方で、ご自身のデータ利用を除外してほしいと希望される方は、下記問い合わせ先までご連絡ください。除外のお申し出により不利益を被ることは一切ありません。ただし、すでに学会誌やデータベースへ発表された内容については、取り下げることは原則困難となります。

問い合わせ先

近森病院

担当者： リウマチ膠原病内科 吉田剛

住所 〒780-8522 高知県高知市大川筋 1-1-16

電話 088-822-5231